当外来での診療の流れ

医療機関での検査

↓

検査結果により
マウスピース適応と診断

↓ ← 紹介状

快眠歯科（いびき・無呼吸）外来初診
※予約制
（TEL. 03-5803-4955）

↓

マウスピースによる治療

↓

治療効果の評価
（紹介元医療機関に再検査依頼）

↓

定期検診

交通のご案内

アクセス

- JR 中央線・総武線 御茶ノ水駅下車 …… 徒歩 5 分
- 地下鉄 丸ノ内線 御茶ノ水駅下車 …… 徒歩 2 分
- 地下鉄 千代田線 新御茶ノ水駅下車 …… 徒歩 7 分
- バス 東京駅北口～荒川土手 間 御茶ノ水駅前下車 … 徒歩 5 分

東京医科歯科大学
歯学部附属病院

快眠歯科（いびき・無呼吸）外来

Dental Clinic for Sleep Disorders

(Apnea and Snoring)

http://www.tmd.ac.jp/denthospital/practice/27_kaimin.html

http://www.tmd.ac.jp/dent_practice/sosiki/kaihuku/27_kaimin/27_kaimin.html

2012.12.2000TM

診療案内　睡眠時無呼吸症候群といびきについて診療しております。

診療内容

当外来では睡眠時無呼吸症候群に対してマウスピース（スリープスプリント）による治療を行います。
このマウスピースは装着することで下顎を前方に突き出すように工夫されており、睡眠中の気道を広げ、いびきや呼吸が止まるのを防止します。
専門の歯科医師が口の中を診察し、歯並びや顎の形に合った装置を作り、口の中で調整して確認した後、夜間の使用法について説明致します。
なお、中等度以上の無呼吸には効果が少ないため、医科で適用の CPAP（鼻マスク）の使用をお勧めします。

主な疾患

■ 睡眠時無呼吸症候群

睡眠中は口、のどの周りの筋肉が緩み、呼吸の通り道（気道）も狭くなり、空気が通過する際、いびきとして振動音を発します。さらに気道が狭くなると呼吸が止まり、閉塞型睡眠時無呼吸症候群となります。肥満、鼻の疾患、舌や扁桃腺の肥大、小顎、顎の後退等により、気道は狭くなりがちです。
主な症状としては日中の強い眠気や、集中力の欠如による仕事の能率低下、車の運転事故など社会生活に支障を来たすばかりでなく、高血圧、不整脈、心筋梗塞、脳血管障害、糖尿病などにかかりやすくなることが知られています。

診療前の要件

当外来で治療を受けるには、事前に**医療機関での睡眠検査、睡眠時無呼吸症候群の診断が必要です。**
医科の紹介無しに、歯科を受診できないこととなっております。検査を受けていない方は当科と提携の、本学医学部附属病院快眠センター（医科の連絡先参照）にお問い合わせ下さい。

《快眠歯科の連絡先》

TEL. 03-5803-4955（9 時～16 時）

《初診受付と時間》

月曜日と金曜日：9 時～11 時 （予約制）

受診前に必ず電話予約を行ってください。
※その他の曜日にご来院の際は、予約のみの取得となりますのでご注意下さい。

受付方法

歯学部附属病院 1 階で初診受付後に、4 階第 1 総合診療室受付に併設の快眠歯科（いびき・無呼吸）外来受付にお越し下さい。

医科の連絡先

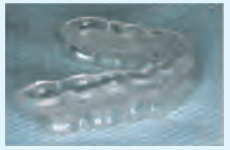
■ 医学部附属病院快眠センター

外来：医学部附属病院 4 階総合内科
問い合わせ先：3 階内科 (TEL. 03-5803-4587)
http://www.tmd.ac.jp/med/slp/index.html

マウスピース（スリープスプリント）による治療

※保険・保険外のいずれかを選択できます

● 保険診療によるスリープスプリント

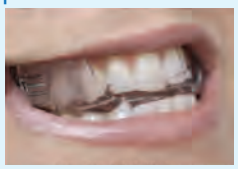


《上下一体型》

（口の中に入れた状態）

● 保険外診療によるスリープスプリント

《上下分離型》

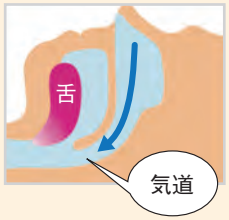


（口の中に入れた状態）

※歯並び，歯周病，咬み合わせや顎の状態によってデザインが変わったり、製作困難な場合もありますのでご了承下さい。

睡眠時の気道の状態といびき症治療法のメカニズム

―― 健 常 者 ――



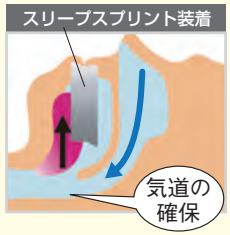
気道は十分確保され、呼吸は円滑に行われる。

―― いびき症 ――

肥大して垂れ下がった舌が気道を塞ぎ、呼吸障害が生じる。

持続陽圧呼吸療法（CPAP）治療

※中等度以上の無呼吸には、医科で適用の CPAP（鼻マスク）の使用をお勧めします。



口の中にスリープスプリントを入れ、下顎が少し前に出ることで舌の位置も上がり気道が広がり呼吸しやすくなる。